

# 星のたより

2025(令和7)年  
8月号  
Vol. 371

## イベント予告「アストロ天文講演会」

～ブラックホールの謎に迫る!!～

今年のアストロ天文講演会講師の「本間 希樹(ほんま まれき)」先生は、国際的なプロジェクト「EHT(イベント・ホライズン・テレスコープ)」の日本代表として、ブラックホールを黒い穴として初めて画像としてとらえた方です。2019年4月に発表されて国内外で話題になった成果について、いろいろとお話をさせていただきます。

日時：9月7日(日) 13:30～15:00

講師：本間 希樹氏(国立天文台水沢 VLBI 観測所所長)

詳しい内容は、公式HPをご覧ください。



さじアストロパークのホームページはこちら

★今月の豆知識★  
①りの星座ってけっこうあるんだよ。夏の星座だったら「はくちょう座」と「わし座」が有名だよ。日本では見られない南半球の星座も入ると、9つもあるんだって。現在の88個の星座を決める前には、もっとあったみたいだから、鳥ってみんなに好かれていたのかな？



## 「コレクションシリーズ」展示中

～第1弾は「天文現象」～

2024年(令和6年)7月、さじアストロパークは登録博物館となりました。1994年7月のオープン以来30年以上にわたり、天体写真などの資料を撮りだめてきました。これらの資料を展示資料としてまとめ、皆さんに見ていただきます。第1弾は「天文現象」。定番の日食や月食はもちろん、22世紀まで見られない珍しい天文現象など、盛りだくさんでご紹介します。あわせて、館内のモニターでは記録した天文現象の中から厳選した映像を上映します。右の画像は、2001年8月16日にあった「木星食」の様子です。木星がゆっくりと月に隠されている様子をご覧ください。



JAPAN MUSEUM

登録博物館



展示期間：6月18日(水)～11月30日(日)

入館料(高校生以上300円、中学生以下無料)でご覧いただけます。

「星のたより」はこちらから



## イベント★耳より情報

★内容や日程が変更となる場合があります。

公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆さじアストロパークコレクションシリーズ①「天文現象」6月18日(水)～11月30日(日)

1994年7月オープン以降、これまでに起こった様々な天文現象の写真などを展示

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク

第2部 テーマ番組「キットと仲間たちのスーパームーンアドベンチャー」

6月18日(水)～9月15日(月・祝)

☆夜間観望会☆ ☆8月のテーマとおすすめ情報

宇宙の宝石アルビレオ 1(金)、2(土)、8(金)、9(土)

おりひめ星 10(金)～13(水)、15(金)、16(土)

ドーナツ星雲(M57) 22(金)、23(土)、29(金)、30(土)

スマホで天の川を撮ろう

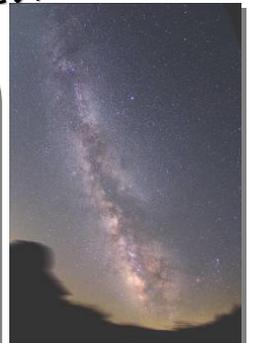
観望会で月がよく見える 1(金)～3(日)

観望会で満天の星が楽しめる 14(木)～17(日)、20(水)～24(日)、26(火)～28(木)

☆8月の休館日 4(月)、18(月)、19(火)、25(月)



アルビレオ



※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

# プラネタリウム & 天体観察会

～ 「星取県」で昼も夜も星空満喫 ～

**1. プラネタリウム** ☆平日は3回、土日祝は4回投影しています  
前半は専門職員による当日夜の星空生解説、後半はテーマ番組投影の2部構成です。テーマ番組は定期的に変更しています。

★前半の当日夜の星空解説

星座の探し方を中心に当日夜の星空を専門職員が語り紹介します。

★後半のテーマ番組

夏のテーマ番組【キッツと仲間たちのスーパームーンアドベンチャー】

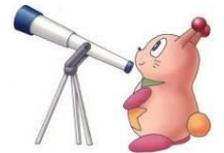
※猫たちと月に探検に出よう！ 投影中～9月15日（月・祝）まで



© KWON O CHUL & Cho Hea Seung

## 2. 103cm大型望遠鏡での夜間観望会（天体観察会）

月明かりの有無や空の状態により、当日の見ごろの天体が異なります。金曜日と土曜日の事前予約は不要です。その他の曜日については、個人の方はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は曜日にかかわらず1カ月前までにご予約ください。

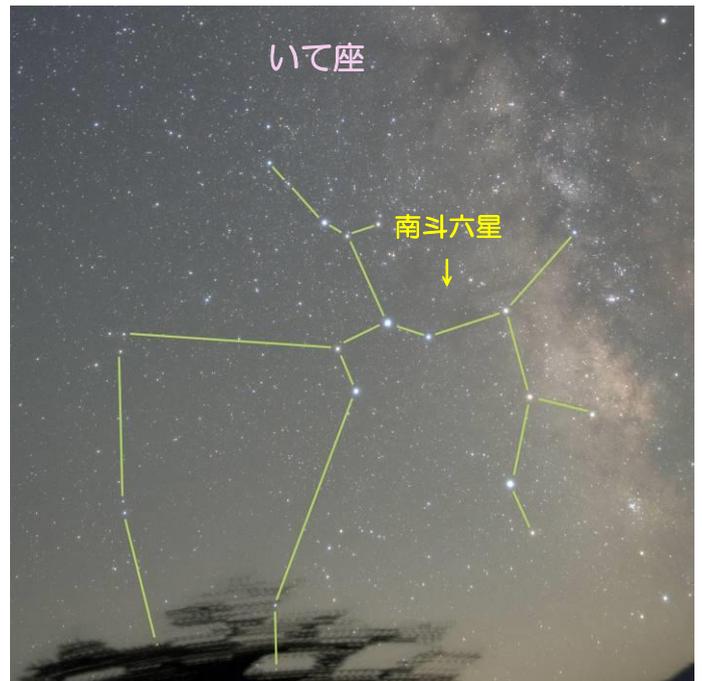


### 8月の星座と観察天体より

#### ☆ いて座

いて座の歴史は古く、古代バビロニア時代の標石には、弓をひくいて座の原型が登場しています。いて座は、上半身が人間で下半身が馬のらんぼうもののケンタウルス族と姿は同じようですが、ケイローンという名の正義感が強く、医術・音楽・武術・予言・狩りなどの能力を備えていました。後に英雄となる多くの若者に養育や教育をおこないました。

いて座には、1等星がありませんが、6つの星でひしゃくを形作る「南斗六星」が目印です。いて座の方向は、銀河系の中心にあたるため、天の川が最も太くて濃く見られます。いて座は、たくさんの星団や星雲がある宝庫で、双眼鏡や天体望遠鏡で時がたつのも忘れるほど観察することができます。



#### ☆ ドーナツ星雲・M57

こと座にある惑星状星雲です。太陽くらいの質量の星の一生の終焉にあたる姿です。もう星としての輝きはなく、広がったガスが中心星が放出する紫外線によって環のように輝いて見えています。その姿からドーナツ星雲やリング星雲の愛称で呼ばれています。この広がったガスの大きさは横断するのに光の速さでも1年近くかかります。



距離 2600光年

# ペルセウス座流星群 & 伝統的七夕

毎年恒例のペルセウス座流星群の時期になりました。今年は条件は良くありませんが、明るい流れ星は見るができます。この機会にぜひ見てみましょう。また、今月は伝統的七夕があります。どんなイベントなのか紹介します。

## ペルセウス座流星群

ペルセウス座のあたりから四方八方に飛び流れ星をいいます。

活動期間：7月20日～8月20日

極大日(多く流れる日)：8月13日午前5時ごろ

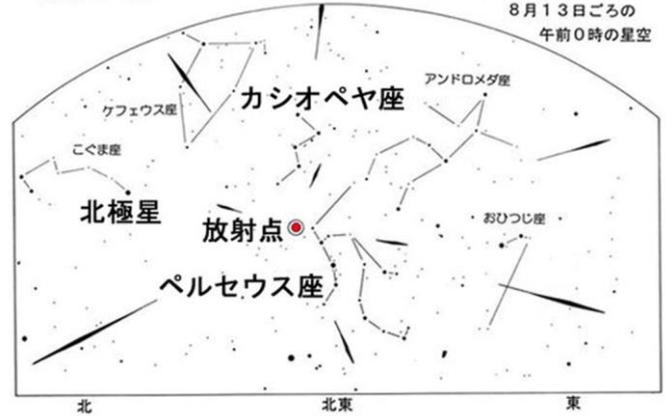
見える数：1時間あたり40～50個

秋の星座ペルセウス座を中心に広い範囲を眺めま

しょう。早い時間なら北東の空、夜明け前などは

天頂付近を眺めます。

ペルセウス座から四方八方に飛び流れ星を見よう!



※今年は、21時以降に月の出があり、あまり条件は良くありません。

アストロパークでは、ペルセウス座流星群の観察会を行います。

8月12日(火)、13日(水)、各日21時30分～23時00分。予約不要で、定員もありません。

みなさんのご参加、お待ちしております。

## 伝統的七夕



8月29日(金)は「伝統的七夕」です。七夕といえば、天の川の両側で別れ別れになっている織姫星(こと座のベガ)と彦星(わし座のアルタイル)が年に1度だけ会うことができる、という中国の伝説に由来するお祭りです。七夕まつりは7月7日に行われていますが、この頃は梅雨のさなかでなかなか星が見られません。そのことから、太陰太陽暦(旧暦)7月7日を「伝統的七夕」と呼び、暗い夜空や天の川を見てもらおうと、2001年から国立天文台が広く紹介しています。

(日没後、早い時間には月が見え、午後10時以降には満天の星を見ることができます。)

この伝統的七夕は次のように決めています。二十四節気の処暑(太陽黄経が150度になる瞬間)を含む日かそれよりも前で、処暑に最も近い朔(新月)の瞬間を含む日から数えて7日目が「伝統的七夕」となります。

ちなみに、来年(2026年)は8月19日です。

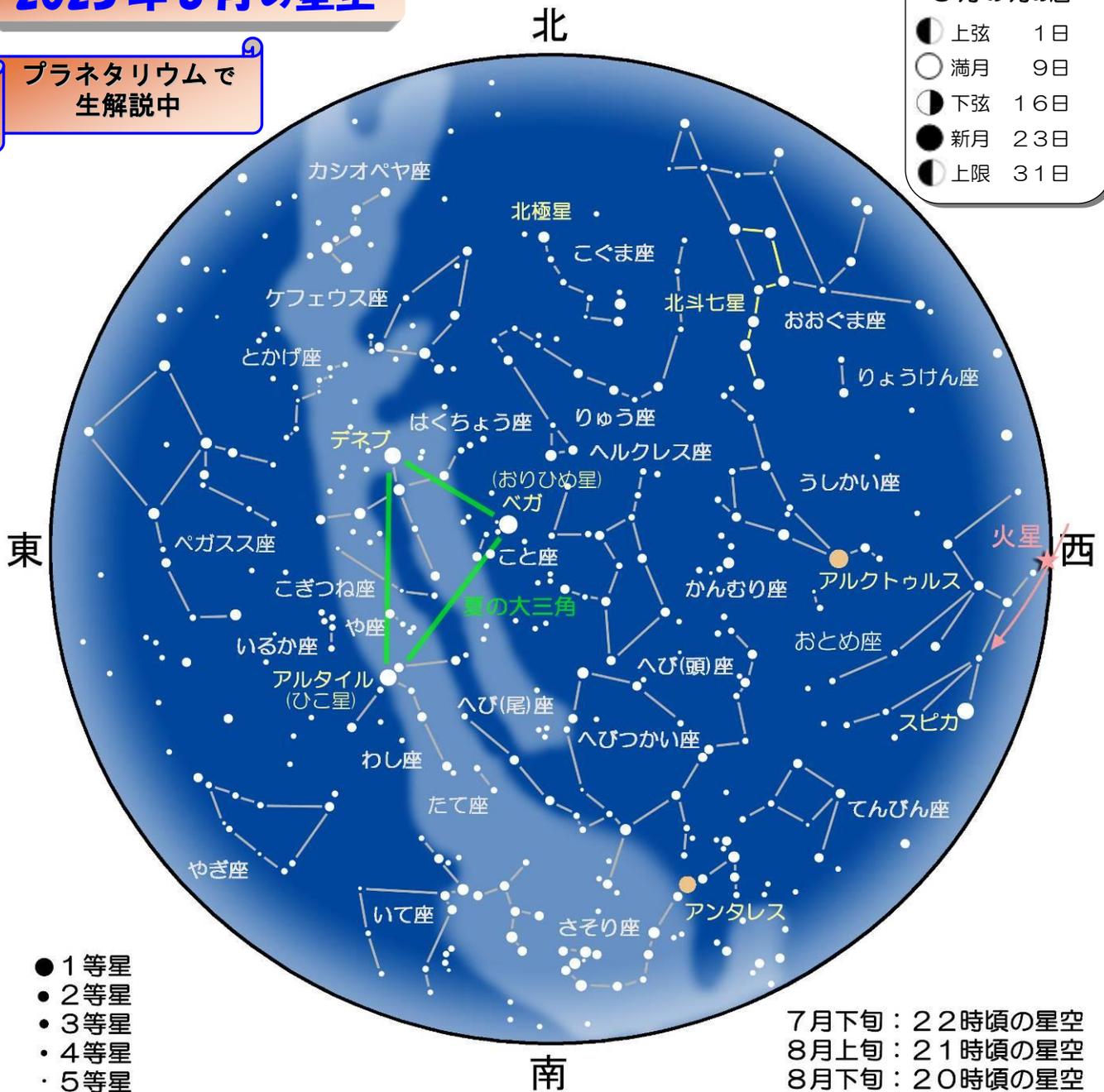


# 2025年8月の星空

## 8月の月の暦

☾	上弦	1日
☽	満月	9日
☾	下弦	16日
●	新月	23日
☽	上限	31日

プラネタリウムで  
生解説中



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 5等星

7月下旬：22時頃の星空  
8月上旬：21時頃の星空  
8月下旬：20時頃の星空

☆今年梅雨明けも早くこれから暑い日が増えそうです。日中の暑い間は屋内で過ごして、外が涼しくなったら星空観察に出かけましょう！薄手の羽織れるものと、虫よけ対策を忘れずに。

☆8月は春の星座たちは西の空へ沈んでいき、もうすっかり夏の星座たちが主役です。南の空ではさそり座が西に傾き始めています。あっという間に沈んでしまうので今のうちに探しておきましょうね。真上を見あげてみるとキラリと白く輝く明るい星が見つかります。これがこと座の「ベガ（おりひめ星）」です。ベガを中心に南東を見ると、わし座の「アルタイル（ひこ星）」、少し東にはくちょう座の「デネブ」があり、大きな「夏の三角形」が見つかりますよ。月のない天気の良い夜には「天の川」を探してみましょう。夏の三角形からさそり座のしっぽのあたりへ雲のような淡い光が広がっています。火星は西の空へと低くなりそろそろ見納めです。日没後早めの時間に西の空を探しましょう。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観望会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtubeも開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp